

第1編 第1章 情報とメディア

※このデータはサンプルです。実際のものとは異なる場合があります。

使用教科書:数研出版『改訂版 高等学校 情報 I 』

節	評価の観点	評価の項目	評価の基準例			評価の方法
			A	B	C	
A 情報とは何か	知識・技能	「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。	「情報」が存在するためには何らかの物理現象を必要とすることも含めて理解している。	「情報」がどのようなものか理解している。	「情報」がどのようなものか理解していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の言葉の意味を答えさせる。 ・教科書p.11に挙げた5つのアトラクションの選び方に対して、自分ならどの方法を選ぶか、理由とともに答えさせる。また、その結果どのような行動につながるか答えさせる。
		情報を評価・判断するための技能を身につけている。	アトラクションの選び方の違いによって、次にとる行動が変わることを理解し、状況に応じた適切な方法を選択できる。	アトラクションの選び方の違いによって、次にとる行動が変わることを理解している。	アトラクションの選び方の違いによって、次にとる行動が変わることを理解しておらず、状況に応じた適切な方法を選択できない。	
	思考・判断・表現	「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、その結果を適切に表現している。	アトラクションの選び方の5つすべての例に対して、その後の行動や結果がどのようにかわるか想像し、説明できる。	アトラクションの選び方の1つの例に対して、その後の行動や結果がどのようにかわるか想像し、説明できる。	アトラクションの選び方の1つの例に対して、その後の行動や結果がどのようにかわるか想像できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.11に挙げた5つのアトラクションの選び方に対して、自分ならどの方法を選ぶか、理由とともに答えさせる。
	主体的に学習に取り組む態度	「情報」がもつ意味やはたらきについて考えようとしている。	身近な例や自分の体験と関連させながら、「情報」がもつ意味やはたらきについて興味をもつ。	「情報」がもつ意味やはたらきについて興味をもつ。	学習内容に興味をもたない。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な「情報」の例とその理由について話しあわせる。

第1編 第1章 情報とメディア

※このデータはサンプルです。実際のものとは異なる場合があります。

使用教科書:数研出版『改訂版 高等学校 情報 I 』

節	評価の観点	評価の項目	評価の基準例			評価の方法
			A	B	C	
B 情報源と情報の検証	知識・技能	一次情報・二次情報といった情報の種類について理解している。	一次情報と二次情報の違いを具体例を挙げながら理解している。	一次情報と二次情報の言葉の意味を理解している。	一次情報と二次情報の言葉の意味を理解していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・一次情報と二次情報の言葉の意味を答えさせる。 ・身近な情報を挙げ、一次情報と二次情報のどちらにあてはまるか答えさせる。 ・教科書p.13 問に取り組みさせる。 ・教科書p.44 編末問題1に取り組みさせる。
		情報を検証する必要性や情報の信頼度を判断する方法について理解している。	情報の検証の必要性和、情報の信頼度を判断する方法を理解し、身近な情報の信頼度を判断できる。	情報の検証の必要性和、情報の信頼度を判断する方法を理解している。	情報の検証の必要性和、情報の信頼度を判断する方法を理解していない。	
		一次情報を調べたり、二次情報のクロスチェックを行って情報を検証したりするための技能を身につけている。	インターネット上の情報を例に、一次情報と二次情報およびその情報源を挙げる。	一次情報を調べる方法と二次情報を検証する方法を理解している。	一次情報を調べる方法と二次情報を検証する方法を理解していない。	
	思考・判断・表現	情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。	信頼度が高いと思われる情報源に加え、信頼度が低いと思われる情報源についても、なぜ信頼度が低いと思われるのか説明できる。	信頼度が高いと思われる情報源として、具体的なサービスや組織を挙げ、なぜ信頼度が高いと思われるのか説明できる。	信頼度が高いと思われる情報源として、具体的なサービスや組織を挙げることができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.13 話しあってみように取り組みさせる。
		主体的に学習に取り組む態度	積極的に情報を検証しようとしている。	情報の検証方法について興味をもち、身近な情報の信ぴょう性を検証しようとする。	情報の検証方法について興味をもつ。	

第1編 第1章 情報とメディア

※このデータはサンプルです。実際のものとは異なる場合があります。

使用教科書:数研出版『改訂版 高等学校 情報 I 』

節	評価の観点	評価の項目	評価の基準例			評価の方法
			A	B	C	
C 情報とメディアの特性	知識・技能	さまざまなメディアの特性を理解している。	表現メディア、伝達メディア、情報メディアの言葉の意味を、具体例とともに理解している。	表現メディア、伝達メディア、情報メディアの言葉の意味を理解している。	表現メディア、伝達メディア、情報メディアの言葉の意味を理解していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現メディア、伝達メディア、情報メディアの言葉の意味を答えさせる。 ・教科書p.15 Exerciseに取り組みさせる。 ・教科書p.44 編末問題2に取り組みさせる。
		情報の表現形式を変換すると、失われる情報やつけ加わる情報があることについて理解している。	教科書の例に加え、その他の具体例もふまえて、失われる情報とつけ加わる情報について理解している。	失われる情報とつけ加わる情報について、教科書に挙げた具体例をもとに理解している。	失われる情報とつけ加わる情報について理解していない。	
		失われる情報とつけ加わる情報に注意して、情報の表現形式を適切に変換できる。	Exerciseの写真を文章で表現する以外の方法に対して、失われた情報とつけ加わった情報を説明できる。	Exerciseの写真を文章で表現した際に、失われた情報とつけ加わった情報を説明できる。	Exerciseの写真を文章で表現した際に、失われた情報とつけ加わった情報を説明できない。	
	思考・判断・表現	さまざまなメディアの特性について考え、判断している。	身近なメディアを挙げ、表現メディア、伝達メディア、情報メディアに分類し、その理由を説明できる。	表現メディア、伝達メディア、情報メディアの違いや特徴を説明できる。	表現メディア、伝達メディア、情報メディアの違いや特徴を説明できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なメディアの例について話しあわせる。 ・教科書p.15 Exerciseに取り組みさせる。
		情報を表現するための適切な表現形式について考え、判断している。	Exerciseの写真を文章以外の方法でも表現できる。	Exerciseの写真を文章で表現できる。	Exerciseの写真を文章で表現できない。	
	主体的に学習に取り組む態度	メディアの意味や情報の表現形式について理解しようとしている。	身近な情報がどのようなメディアでどのように表現されているか興味をもつ。	メディアのさまざまな種類や情報の適切な表現形式について興味をもつ。	学習内容に興味をもたない。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なメディアの例について話しあわせる。 ・教科書p.15 Exerciseに取り組みさせる。

第1編 第1章 情報とメディア

※このデータはサンプルです。実際のものとは異なる場合があります。

使用教科書:数研出版『改訂版 高等学校 情報 I 』

節	評価の観点	評価の項目	評価の基準例			評価の方法
			A	B	C	
D 問題解決	知識・技能	問題解決を行うための手順を理解している。	問題解決の各手順に必要な作業や方法を理解している。	問題解決の手順を理解している。	問題解決の手順を理解していない。	・教科書p.17～19の問題解決の例を，問題解決の各手順にあてはめさせる。 ・教科書p.44 編末問題3に取り組ませる。 ・教科書p.166～167 巻末実習1に取り組ませる。
		問題解決の各手順に必要な作業や方法を理解している。	問題解決の各手順に必要な作業を理解し，自発的に問題解決の活動を進めることができる。	問題解決の各手順に必要な作業や方法を理解している。	問題解決の各手順に必要な作業や方法を理解していない。	
		問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。	「情報の整理と分析」以外の段階でも，情報機器を活用している。	「情報の整理と分析」の段階で表計算ソフトウェアなどを使用して情報を整理できる。	「情報の整理と分析」の段階で表計算ソフトウェアなどを使用して情報を整理できない。	
	思考・判断・表現	問題解決の手順について考え，その結果を適切に表現している。	身近な問題解決の例を，問題解決の各手順にあてはめることができる。	教科書で示した問題解決の例を，問題解決の各手順にあてはめることができる。	教科書で示した問題解決の例を，問題解決の各手順にあてはめることができない。	・教科書p.17～19の問題解決の例を，問題解決の各手順にあてはめさせる。
		適切な根拠によって物事を判断できる。	立案した解決案の根拠の説明に加え，解決案実行後の評価段階でも根拠のある説明ができる。	立案した解決案の根拠を説明できる。	立案した解決案の根拠を説明できない。	
	主体的に学習に取り組む態度	情報と情報機器を問題解決に適切に活用しようとしている。	問題解決の各手順で，扱っている問題や状況に応じて，必要な情報と情報機器を積極的に活用している。	問題解決の各手順で，情報と情報機器を積極的に活用している。	問題解決の各手順で，情報と情報機器を活用していない。	・問題解決の手順に沿って，問題解決の活動に取り組ませる。 ・教科書p.166～167 巻末実習1に取り組ませる。
具体的な問題解決の手順を身につけようとしている。		身近な例で問題解決を行うことに興味をもつ。	問題解決の手順や，その手順に沿った問題解決を行うことに興味をもつ。	学習内容に興味をもたない。		